



言葉がなくなったって、この感動



▲人形を操る劇団員。心温まるストーリーは観客に感動を与えました

箱(はこ)で表現された人形の世界
デフ・パペットシアター・ひとみによる言葉のない人形劇「はこ/BOXES」じいちゃんのオルゴール」。8月30日に三原公民館で行われた人形劇は、観客約800人の心に感動を与えました。
この公演は、「障がい者も健常者も年齢にかかわらず共に楽しめる公演をしたい」と有志の実行委員会(木田薫委員長)が企画したもので、家族

のきずなを描いた物語は、コミカルな人形の動きや出演者の巧みな表情で演じられ、言葉がなくても観客席から歓声が上がっていました。
当日は、目や耳に障がいのある人も訪れましたが、多くのボランティアスタッフが支えられ、健常者と同じ時間を共有することができました。
観賞された人は、「言葉のない人形劇は初めて。近所で公演だったので来てみました。生き物のように動く箱に驚きました」と話していました。

幸せを運ぶ鳥飛来

8月下旬〜9月上旬にかけてコウノトリが南あわじ市内に飛来し、水田や川にいる小動物を食べている様子が目撃されました。
県立コウノトリの郷公園(豊岡市)によると、このコウノトリは、同公園から巣立ちしたものから生まれた、幼鳥であると見られています。
南あわじ市に2週間ほど滞在したあと、9月8日に、同

南あわじ市でコウノトリを目撃
公園へ帰ったそうです。総移動距離は約300kmでした。
コウノトリは子宝をもたらす鳥としても有名で、少子対策を市の重点施策として取り組んでいる南あわじ市にとっては、明るいニュース。中田勝久市長は、「幸せを運ぶ使者に感激しています。兵庫県や豊岡市の努力に感謝しています」と話していました。



▲飛来したコウノトリ(8月26日、北阿万筒井で撮影)

3高校の文化集結、盛大に発表



▲1階ロビーで行われた茶道の点前。来場者約300人にお茶が点てられました

来年3月に閉校する志知高校と三原高校。この2校の文化活動を発展的に引き継ぐと8月22日、淡路三原高校を含めた3高校で「とっておき!『わ』の文化」が三原公民館で開催されました。
舞台発表の「百人太鼓」では、市内の園児や小中高、住民ら約100人が和太鼓を大合奏しました。
また、フィナーレ「五百人の玉三」では、約150人の舞台発表者と300人を超える観客らが共にだんじり唄を歌い、唄声は場外にまで轟



▲勇壮な和太鼓の演奏。演技が終わると観客から大きな拍手が起きました

きました。当日来場していた観客は、「迫力満点の演技で、楽しめました」と話していました。

トンガの子どもたちへ創作紙芝居をプレゼント

南あわじ市と洲本市の2か所に教室がある「ふれあい絵画教室」に通う子どもたち40人が、南太平洋に浮かぶトンガの子どもたちへ、創作紙芝居をプレゼントしました。
これは海外青年協力隊としてトンガに派遣されている、岡本み佳さん(洲本市)が、トンガに絵本が少ないことから、義母で絵画教室講師の岡本幸枝さんに制作を依頼

ふれあい絵画教室
したことがきっかけです。
この創作紙芝居は、生徒たちが、絵画のスケッチに出かけたときに沸いた創造を膨らましたもので、淡路島を舞台に動物と人がふれあう物語に仕上げました。
子どもたちは「これをきっかけに、トンガの子どもたちと友だちになれたら」と話していました。



▲創作紙芝居を作ったふれあい絵画教室の皆さん

チャレンジ! おおいた国体に出場

氏名	所属	競技名
○北野 上能丈	三洋電機(株)	ボート競技成年女子舵手付きクォドルブル
浦川 和貴	柳学園高校	少年男子舵手付き
吉川 実花	洲本実業高校	少年女子舵手付き
齋藤 愛佳	日本体育大学	ボート競技成年女子シングルスカル
○仲野 克幸	柳学園高校	少年男子ダブルスカル
立花 剛志	柳学園高校	少年女子ダブルスカル
西藤 あづさ	柳学園高校	少年女子ダブルスカル
山口 知紘	柳学園高校	少年女子ダブルスカル
浦瀬 泰司	兵庫県警察	柔道競技成年男子団体
◎三原 克幸		
蔭山 将和		
森本 明男	三洋電機(株)	軟式野球成年男子
小山 雅人		
井上 正幸		
池尻 実	柳学園高校	相撲競技少年男子

※○=監督、◎=監督兼選手

9月27日〜10月7日の期間、大分県で開催されている「チャレンジ! おおいた国体」に南あわじ市在住・出身者14人が出場。開催前の9月18日、市役所で壮行会が行われ、中田市長らが選手を激励しました。(写真)



▲左から、1列目=西野さん、山口さん、吉川さん、立花さん、中野さん
2列目=塚本教育長、中田市長、池尻さん、浦川さん、金崎体育協会長
3列目=三原さん、蔭山さん、森本さん、小山さん、井上さん、浦瀬さん、川野副市長

共同作業で、連帯意識

俊文庄田地区
普段生活している地元の環境を美しくしようと、俊文庄田地区では、毎年2回、自治会主催で清掃活動を行っています。
9月14日に行われた清掃には、各世帯から1人ずつ、170人が参加。俊文安住寺川やしづおり公園、市営住宅周辺の草刈りやゴミ拾いを約2時間かけて行いました。共同作業で、住民相互の連帯意識も深まっているようでした。



▲しづおり公園を清掃する住民たち

おめでとう 奥村勇さんに 高齢者叙勲



▲奥村さん

9月18日、高齢者叙勲の伝達式が行われ、元南淡町議会議員の奥村勇さん(沼島)に旭日単光章が贈られました。
奥村さんは、昭和38年7月から20年間の永きにわたって、南淡町議会議員として地方自治の発展に尽力されました。この間、議長や副議長も歴任。離島振興特別対策委員長も10年間務められ、沼島・灘地域の振興に並々ならぬ努力をされました。
議員以外にも南淡町消防団長や沼島漁業協同組合長という重職にも就かれ、日夜、郷土のために尽くされました。